



密かなブーム!?

楽しみながら学べる!

土木カードとは?



こんにちは。土木学者のデミー博士です。

みなさんは「土木カード」って聞いたことありますか?

実は、ダムや橋、マンホールなど、私たちの暮らしを支えている土木構造物がカードになっていて、その役割や歴史を楽しく学べるんです。しかも今、密かなブームになっているんですよ。

「土木ってちょっと堅いイメージがある…」と思う方もいるかもしれませんが。でもカードになると不思議と身近に感じられるんです。コレクションしたくなるくらいワクワクしますよ。



ゲットだぜ!

今回の「DOVOC 通信ながさき」では、長崎県内でゲットできる「ダムカード」「九州インフラカード」「マンホールカード」の魅力をご紹介します。

※各カード発行の情報は2025年11月1日現在のもの

ダムカード

最初に紹介するのは「ダムカード」。国土交通省と独立行政法人水資源機構が平成19年に配布を始めました。いまでは都道府県なども発行をし、全国で800種類以上もあるんです!

表には迫力満点のダムの写真、裏には型式や高さ、貯水量などのデータが載っていて、まるで「小さなダム図鑑」。手に取るだけでダムの力強さを感じられます。

長崎県では35種類以上が配布中。たとえば、国の重要文化財に指定されている本河内低部ダム(長崎市)や、建設中の本明川ダム(諫早市)などがあります。ダムを訪れると、カードという「お土産」がもらえるのです。



九州インフラカード

次は「九州インフラカード」。国土交通省九州地方整備局が九州7県で149種類のカードを配布しています。九州各地の橋や港、河川、公園、さらには土木遺産まで紹介されています。

言うなれば、インフラのミニパンフレット。カードを通して、地域の歴史や役割を知ることができ、観光にもつながるんです。

長崎県内では現在6種類

- 諫早市街地の水辺
- 鎮西橋(長崎市)
- 長崎港
- 早岐瀬戸大橋(佐世保市)
- 水無大橋(島原市)
- 佐世保港



●カードを集めると、長崎のインフラ探検マップが完成していくような感覚になります。



マンホールカード

そして一番人気なのが「マンホールカード」。下水道広報プラットフォーム(GKP)と全国の地方公共団体が協力して発行しています。全国でシリーズ累計1189種類、747自治体・3団体が配布しています。種類の多さは土木カード界の王者といえるでしょう。

カードには、実際のマンホール蓋の写真とその蓋の設置位置情報が載っていて、裏面にはデザインの由来や意味まで。地域の文化や観光とも深くつながっているんです。

長崎では、9種類が配布

- 諫早市は国の重要文化財「諫早眼鏡橋」
- 杵岐市は郷土風の「鬼風」
- 長与町はイメージキャラクター「ナガヨ ミックン」



身近な足元に、こんな奥深いストーリーが隠れているなんて驚きですよ。

さあ! 土木カードを集めに行こう!

ダムカード、九州インフラカード、マンホールカード…。どれもただのカードではありません。写真の迫力と、裏面にびっしり詰まった情報は、まるで「小さな土木博物館」。カードを集めれば集めるほど、街の姿や自然との関わりが新しく見えてきます。「土木ってすごい!」と感じる瞬間に出会えるはず。長崎の土木カードを片手に、あなたも自分だけの土木探検の旅に出かけてみませんか? 最新の配布状況は公式サイトでチェックして、カード集めの冒険を楽しんでください。

執筆者紹介

Profile

デミー博士

でみず あきら
出水 享

1979年生/福岡県出身/長崎大学/工学博士/防災士/福岡県建設産業PRプロデューサー/内閣府地域活性化伝道師/総務省地域力創造アドバイザー/環境省環境カウンセラー/YouTuber/国土交通大臣表彰/軍艦島3Dでグッドデザイン賞/コカ・コーラ環境教育賞/メディア出演 2000件以上



デミー博士って何者?



デミー博士の公式ウェブサイト